

第2回 学校運営協議会 記録

		学校名	横手市立平鹿中学校
開催日時・時間・場所		令和6年12月2日（月）・午後1時30分～・平鹿中学校会議室	
出席者数	7名	欠席者数	2名
協議案件	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間発表会「輝きトーク」を参観して ・これまでの取組や学校運営から見える課題について ・今後の取組について 		
協議の主な内容	<p>【総合的な学習の時間発表会「輝きトーク」を参観して】</p> <p>○学年縦割りの発表の中で、3年生がうまくまとめたり、和やかな雰囲気で見学したりと、全校生徒の仲の良さが感じられる。</p> <p>○検索した結果だけでなく、一歩深めることができる内容であった。</p> <p>○上下の分け隔てのない人間関係ができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タブレットを使うのが当たり前になってきているが、漢字が分からない、正しい日本語表現が分からないということも考えられる。 ●タブレットの操作、プレゼン作成などは役に立つ技能なので育てたいが、タブレットなどの活用を間違えることは危険である。 ●タブレットだけ見て話す生徒が見られた。タブレットは補助的に用いて目を見て話した方がよい。 <p>☆総合的な学習の時間で地域について学ぶ活動であれば、コーディネーターを活用する。地域活動を活発にやっている人はいる。浅舞、吉田、醍醐と違いがあるので、いろいろな接点をつくることできれば良いのではないかな。</p> <p>【これまでの取組や学校運営から見える課題について】</p> <p>○アップルトークは良い取組である。説明の順序性など論理的に話すことを学ぶことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校では登校できないでいる生徒の原因分析をどう捉えているのか →コミュニケーション不足、トラブルを解決できない、レジリエンスが低いなど、生徒一人一人によって様々な要因が複雑に絡み合っている。 <p>○「子育てサポートの会」に関わることとした経緯について。日本の子どもは「幸福度」が低いと言われている。生きる価値や自尊感情が低下している。子どものケアは教育の専門家をお願いし、親のケアは登校できないでいる子どもを持つ当事者が一番良いのではないかと考えた。学校にとっては耳が痛い話題がたくさん出たが、親の心を軽くすることができたのではないかな。</p> <p>○登校できないでいる生徒と部活動で関わっている。部活動を通してやれることはないかと考えている。</p> <p>【今後の取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平鹿地区に全戸配布する「コミュニティ・スクールだより」の第2号は、2月頃予定している。内容は、ボランティア活動の内容と生徒の感想、子育てサポートの会の取組について掲載する予定である。 ・第3回学校運営協議会では、アンケートによる評価を予定している。 		
<p>○これまでの取組を継続し、今後、実践につなげられそうなこと</p> <p>●時間をかけて慎重に協議をしなければならないこと</p> <p>☆今後の取組への提言等</p>			
次回の連絡	<p>第3回学校運営協議会は、2月中旬に実施予定。学校評価及び保護者アンケートの結果報告、学校運営協議会の評価について協議する。また、総合的な学習の時間で探究できる人、物、ことについて情報があれば教えてほしい。</p>		
記録者	平鹿中学校 教頭 長崎 晋		